

社会資本総合整備計画（市街地整備）事後評価書

平成28年3月22日

計画の名称	1 公共施設の整備改善による安心・安全な住みよいまちづくり																
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度（5年間）					交付対象	うるま市										
計画の目標																	
安慶名地区は、戦後、米軍に強制接取された人々らが移り住み無秩序にまちが形成され、人口の増加に伴って商店街も形成されうるま市の中心市街地として発展してきた。しかし、近年は周辺地域での大型店の出店等による商店街の衰退や無秩序な市街地形成による家屋の密集化、老朽化により都市機能の低下が著しい状況となっている。 このような中、「（旧）具志川市中心市街地活性化基本計画」において、市街地の整備改善および商業等の活性化を一体的に推進するため本地区が中核的な位置づけがなされ、土地区画整理事業による公共施設の整備改善と宅地の利用増進ならびに不良住宅の解消等住環境の整備改善を図るとともに商業機能の強化等を地元まちづくり活動と連携し、安心・安全な住みよいまちづくりを目指す。																	
計画の成果目標（定量的指標）																	
・安慶名地区における住居人口を460人（H22）から1,200人（H26）に増加 ・まちの賑わいを創出するイベント等の開催数を8回/（H22）から20回/年（H26）に増加																	
定量的指標の定義及び算定式																	
① 安慶名地区における住居人口を把握する。 ③ まちの賑わいを創出するイベント等の開催数を調査する。										定量的指標の現況値及び目標値			備考				
										当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)					
										460人	830人	1,200人					
										8回／年	14回／年	20回／年					
全体事業費	合計 (A+B+C)	305百万円	A	298百万円	B	0百万円	C	7百万円	効果促進事業費の割合 C／(A+B+C)	2.3%							
事後評価																	
○事後評価の実施体制、実施時期																	
事後評価の実施体制																	
事後評価の実施時期																	
平成28年3月																	
公表の方法																	
沖縄県うるま市のホームページ																	
1. 交付対象事業の進捗状況																	
交付対象事業																	
A1 基幹事業（都市再生区画整理事業）																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
1-A-1	都再区画	一般	うるま市	直接	うるま市	-	-	安慶名土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=16.2ha	うるま市	H22	H23	H24	H25	H26	298	
小計（道路事業）																	
A2																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	港湾種別	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積・水深等)	港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考
											H22	H23	H24	H25	H26		
小計（港湾事業）																	
合計																	
B 関連社会資本整備事業																	
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容 (延長・面積等)	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 (百万円)	備考	
										H22	H23	H24	H25	H26			
合計																	
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考

C 効果促進事業																
番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	省略 工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	備考
										H22	H23	H24	H25	H26		
1-C-1	施設整備	一般	うるま市	直接	うるま市	-	住居表示整備事業	住居表示実施	うるま市						7	
1-C-2	施設整備	一般	うるま市	間接	団体	-	防犯灯整備事業	防犯灯の設置	うるま市						0	
1-C-3	施設整備	一般	うるま市	直接	うるま市	-	サイン整備事業	案内版等の設置	うるま市						0	
1-C-4	社会実験	一般	うるま市	直接	うるま市	-	社会実験集客イベント等	集客イベント等の開催	うるま市						0	
合計															7	
番号	一体的に実施することにより期待される効果															備考
1-C-1	住居表示を実施し、訪ねやすい住みよいまちづくり。															
1-C-2	自治会等が行う防犯灯の設置に対して助成を行い、安心・安全なまちづくりを実現する。															
1-C-3	案内板等を整備することにより利便性の高いまちを実現する。															
1-C-4	社会実験集客イベント等を行い、賑わいの創出により活気のあるまちづくりを実現する。															

※交付対象事業については、できるだけ個別路線ごとに記載すること。

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況					
Ⅰ 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況		・安慶名地区における居住人口が460人（H22）から621人（H26末）に増加した。 ・まちの賑わいを創出するイベント等の開催数はH22、H26とも8回/年と同じ開催数となった。			
Ⅱ 定量的指標の達成状況	指標①（安慶名地区における居住人口）	最終目標値	1,200人	目標値と実績値に差が出た要因	建物移転補償が難航している箇所があり、移転補償の遅れに伴い公共施設（道路等）・ライフラインの整備が遅れたため、目標値と実績に差が出たと思われる。今後は公共施設等が整備されることで、住宅・アパート建築が増加し、人口も増加していくことが期待できる。
		最終実績値	621人		
	指標②（まちの賑わいを創出するイベント等の開催数）	最終目標値	20回/年	目標値と実績値に差が出た要因	都市再生区画整理事業の遅れにより、地区内の人口及び宅地の利利用率の増加が想定よりも遅れているため、目標値と実績値に差がでた。さらに、中間時点では17回/年と目標を達成していたが、これまでイベント等の開催に寄与していた地区内の地権者などが、移転補償により一時的に地区外に転出しているため、中間実績値よりも最終実施値が減となっている。しかし、現在は宅地の整備もほぼ完了しているため、工事の進捗にともない地区内の人口及び宅地の利利用率が増加することで、地区内で開催されるイベント等も増加してくることが期待できる。
		最終実績値	8回/年		
Ⅲ 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 （必要に応じて記述）		・健康福祉センターのイベント開催数12回（H26） 事業地区内における健康福祉センター内イベントが増加することで、街に人が集まり賑わいの創出に一役を担っている。			
3. 特記事項（今後の方針等）					
本地区は平成28年度を事業完了予定とし整備を進めていたが、建物移転補償等が難航した箇所があり都市再生区画整理事業が期間内で完了していないため、社会資本総合整備計画（第2期計画）において引き継ぎ施行をおこなっている。しかし、現在は物件移転補償等についてはほぼ完了しており、今後は都市計画道路及び区画道路等の公共施設整備をすすめることで、早期の事業完了及び地区内の宅地利用の利便性向上につとめる。さらに、事業進捗状況の情報発信も積極的におこない、宅地の利用増進を促し地区内の人口、イベントの増加につなげていく。					

(参考様式3) (参考図面) 市街地整備

計画の名称	1 公共施設の整備改善による安心・安全な住みよいまちづくり		
計画の期間	平成22年度 ～ 平成26年度 (5年間)	交付対象	うるま市

